

公立大学法人新潟県立大学 平成31年度計画(第2期)

第1 教育研究上の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1)教育の内容に関する目標を達成するための措置

①入学者受入方針に関する具体的方策

<入試制度>

1 文部科学省の高大接続改革の進捗を注視し、2021年度入試に関し、学力の3要素に留意した多面的総合的評価方法等について準備を進める。入試広報課

2 外国人特別選抜、帰国生特別選抜を継続して実施する。入試広報課

<広報活動>

3 リニューアルしたウェブサイトの運用について学内で説明会を実施し、各部局によるコンテンツの構築・更新を目指す。2020年4月設置予定の国際経済学部(仮称)の入学広報活動を推進する。入試広報課

4 オープンキャンパス、高校教諭対象説明会の開催、高校訪問、各種進学相談会等への参加を通じて、県立大学の知名度向上を図るとともに、学部の教育研究の特色を周知し、優秀な学生の獲得を目指す。入試広報課

②教育課程に関する具体的方策

<全学共通>

5 地域や企業等と連携した授業内容を盛り込むなど、学生の課題解決能力を伸ばす授業の推進を図る。さらに、海外でのフィールドワークを実施し、学生の国際的な視点をういた課題解決能力の育成を推進する。教務学生課

6 ACEプログラムや英語資格試験について周知し、学生に英語学習の目標を意識させる。教務学生課

<国際地域学部国際地域学科>

7-1 学生の興味・関心や将来の進路に応じた履修指導を行う。教務学生課

7-2 学部共通科目で国際地域学への導入とコース紹介を行い、1年次の後期には学生の興味・関心に応じたコース選択ができるよう指導する。教務学生課

<人間生活学部子ども学科>

- 8-1 資格・免許への意識付けや、将来の進路等に対応した履修指導を行う。 教務学生課
- 8-2 保育士資格並びに幼稚園教諭免許の取得に関連した学科の専門科目について、法令改正への対応を考慮しながら実施する。 教務学生課
- 8-3 社会福祉士国家試験受験への準備を支援する。 教務学生課

<人間生活学部健康栄養学科>

- 9-1 学生の興味・関心や将来の進路等に対応した履修指導を行う。 教務学生課
- 9-2 カリキュラムに基づいて、管理栄養士及び栄養教諭免許取得に関連した科目を、法令改正への対応を考慮しながら実施する。 教務学生課
- 9-3 管理栄養士国家試験受験への準備を支援する。 教務学生課

<大学院国際地域学研究科>

- 10 大学院の活性化のため、国際協力機構との連携を強めるとともに、海外の協定校等からの外国人留学生の拡大を図る。同時に、推薦入試の制度を拡大し、学卒者、社会人、外国人留学生の応募に柔軟に対応する体制を整備する。 教務学生課

③教育方法に関する具体的方策

- 11 『地域協働演習』以外の科目において、部分的にインターンシップ形式を取り入れるなど、地域と連携し、地域の課題に取り組むフィールドワーク的科目を増やし、そのための授業方法の開発に取り組む。 教務学生課
- 12 成績評価に対する申し立て制度について、2020年度からの運用を目指して整備を進め、成績評価方法の更なる可視化を図る。 教務学生課

(2)教育の実施体制に関する目標を達成するための措置

①適切な教職員の配置等に関する具体的方策

- 13 教職員の専門性を向上させるため、必要な研修の受講機会を設ける。 総務課

②教育環境の整備に関する具体的方策

- 14 学生ニーズ等の把握に努めるとともに、学内施設利用状況を踏まえた自習環境等の整備を行う。平成31年度から証明書自動発行機を稼動する。 教務学生課
総務課
- 15 利用者ニーズの把握に努めつつ、新学部の動向も踏まえ、全体のバランスを考慮した電子ジャーナル等の充実を図る。 教務学生課

③教育活動の評価と改善に関する具体的方策

- 16 授業評価アンケート内容の抜本的な見直しを検討することで、教育内容および教育方法の改善を図る。 教務学生課
- 17 本学のアクティブ・ラーニングの実情把握のための学内アンケート結果から、アクティブ・ラーニングが実践されている科目の公開授業を実施し、より効果的な指導法の実践を目指す。また、FD委員会主催の研修会等を実施する。 教務学生課

④教育の質の向上に関する具体的方策

- 18 最終年度を迎える「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)に取り組み、本学の教育にフィードバックできるよう努める。 業務推進部

(3)学生への支援に関する目標を達成するための措置

①学習支援に関する具体的方策

- | | | |
|------|--|-------|
| 19-1 | 学生部委員会と連携し、入学式前のオリエンテーションを実施して、早い段階での学習への動機付けを高める。 | 教務学生課 |
| 19-2 | 新入生が大学教育に適応できるよう、入学前体験学習の講座内容の充実を図る。 | 教務学生課 |
| 20 | 教務システムと連動したシラバスシステムの運用に向け、システム修正等を行う。 | 教務学生課 |
| 21 | 新学部を開設する2020年に向け、教員向けの履修指導ハンドブックの内容を検討し、作成を行う。 | 教務学生課 |
| 22 | 留学生の語学レベルに合わせた日本語科目および日本語支援室を運営し、日本語学習の学習支援を行う。 | 教務学生課 |
| 23 | 大学院における社会人学生のニーズを反映し、土曜授業の拡大やカリキュラムの改善に取り組む。 | 教務学生課 |
| 24 | 学生の学習を支援するため、教務システムにおける成績評価および定期試験内容の通知機能の改善を行う。 | 教務学生課 |

②生活支援に関する具体的方策

- | | | |
|----|--|-----------|
| 25 | 奨学金に関して、学内掲示板やmanaba folioを通じて適切に情報提供を行うほか、国で検討されている新たな授業料減免制度に適切に対応する。 | 教務学生課 |
| 26 | 学生の要望の把握に努め、必要な支援について検討・実施する。
また、関係各所と協力し、サークル活動や学生自主企画の支援を行う。 | 教務学生課 |
| 27 | キャリア支援センターと地域連携センターとで作成した「ボランティア・地域活動、インターンシップのしおり」を新入生に配布し、必要な情報を周知徹底し、ボランティア活動・地域活動支援体制のさらなる充実を図る。 | 就職キャリア支援課 |
| 28 | 保健室と連携して定期健康診断の受診の徹底に努める。
また、学校医による健康相談について、相談日当日の校内放送に加え、新たに年度当初のオリエンテーションにて相談日程を配布する。 | 教務学生課 |

③就職・進学等支援に関する具体的方策

- | | | |
|----|--|-----------|
| 29 | 「大学生活の過ごし方」「2年生進路ガイダンス」「ビジネスリーダーズセミナー」等の低学年向けのキャリア支援を行い、3年次の就職ガイダンスへ繋げる。 | 就職キャリア支援課 |
| 30 | 前年度のガイダンスでの実施状況を踏まえ、各学科で必要とするガイダンスの見直しを行い、内容の充実を図る。 | 就職キャリア支援課 |
| 31 | 卒業生へのガイダンス参加依頼を継続して行うとともに、様々な企業と接点を持ち、多くの情報収集を行うことで就職支援に活用する。 | 就職キャリア支援課 |

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び成果等に関する目標を達成するための措置

- | | | |
|----|--|----------------|
| 32 | 新潟県が抱える諸課題を研究テーマとして取り組み、シンポジウム等で発表する。 | 教務学生課
業務推進部 |
| 33 | 国内外の大学や研究機関と交流促進を図りつつ、研究水準の向上を目指し、ワークショップやカンファレンス等を開催する。 | 業務推進部
企画課 |
| 34 | 大学の発信力を高められるような新潟の地域特性を活かした研究やプロジェクトを推進する。 | 業務推進部
企画課 |
| 35 | 教員評価システムの運用上の課題を整理し、教員の活動の成果を公正・的確に評価する。 | 総務課 |

(2) 研究の充実体制の充実・強化に関する目標を達成するための措置

- | | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 36 | 大学高度化推進事業を実施し、機動的に重要事業への予算配分を行う。 | 財務課 |
| 37 | 多様な資料の収集、整理を図り、データベース化等の作業の促進に努める。 | 教務学生課 |

3 地域貢献・国際化に関する目標を達成するための措置

(1)教育研究などにおける地域や社会との連携・協力に関する目標を達成するための措置

- 38 国や自治体、地域の各種団体等からの依頼に応じて、各種審議会・委員会等へ積極的に参画し、継続して各教員の専門性を社会へ還元する。総務課
- 39 アカデミックインターンシップ及び知の創造セミナー等により新潟県教育庁高等学校教育課と連携を図り、県内高校生の知的探究心を満たす機会を提供するなど、高大連携事業に取り組む。入試広報課
- 40 地域の方々に本学の地域活動を積極的にアピールし、また、学生に地域活動の意義や魅力を伝え、地域貢献活動への参画を促す。業務推進部
- 41 県民の生涯学習の場として、公開講座を開催する。また、有意義な講座となるよう、これまでの開催実績を活かし、講座のテーマについて慎重に検討する。業務推進部

(2)産学官連携の推進に関する目標を達成するための措置

- 42 共同研究を促進すべく、共同研究の案内や共同研究に関連する自治体や企業等主催のセミナー等について、情報発信に努める。業務推進部
- 43 地域連携センターニューズレターの発行及び、学生・教員の地域活動の大学ホームページ掲載などを通して、本学の地域活動の情報発信に努める。また、県内他大学と連携しながら、COC+事業に参画し、地域の課題解決、地域振興に取り組む。業務推進部

(3)国際化の推進に関する目標を達成するための措置

- 44 海外語学研修や外国人留学生の受入等を推進し、国内外の大学等との交流強化を図る。国際交流課
- 45 留学生に地域のイベントへの参加を呼びかけるなど、県民の多文化理解や地域の国際化に資する取組を行う。国際交流課

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置

- | | | |
|----|---|------------|
| 46 | 理事長・学長が指導力・統率力を発揮し、戦略的・機動的な法人・大学運営を行う。 | 総務課 |
| 47 | 学内機関の改廃及び予算の見直しを行い、本学の情報基盤の整備・拡充などを踏まえた予算配分を行う。 | 財務課
総務課 |
| 48 | 法人評価委員会の評価や大学認証評価等、学外の評価や意見を学内で共有し、大学運営に適切に反映させる。 | 企画課 |
| 49 | 監事と密な関係を図りつつ意見交換を行うとともに、監査結果を大学運営に反映させる。 | 財務課 |

2 人事の適正化に関する目標を達成するための措置

- | | | |
|----|---|-----|
| 50 | 研究に従事する教員の勤務形態について、専門職型裁量労働制を導入し、適正な運用に努める。 | 総務課 |
| 51 | 現行の教職員評価システムを運用しつつ、これまでの効果等を検証の上、必要に応じ抜本的な改革について検討を深める。 | 総務課 |
| 52 | 教職員の採用にあたっては、公募を原則とし、幅広く優秀な人材の確保に努める。 | 総務課 |

3 事務の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- | | | |
|----|--|-----|
| 53 | 新学部の設置に伴う業務内容の変化や業務量の増加に対応するため、職員の増員等を含めた事務局体制の見直しを行う。 | 総務課 |
| 54 | 事務の効率化を図るため、適宜事務処理方法の点検を行い、必要に応じて外部委託を行う。 | 総務課 |
| 55 | 情報基盤長期整備計画に基づき、システムの見直し等を行う。 | 総務課 |

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

1 外部研究資金その他自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- 56 科学研究費補助金をはじめ、外部資金等に関する情報を的確に教員に提供するとともに、受託研究の実施等に係る対象機関との調整、手続き等を行う。 財務課
- 57 教員の教育研究活動について広く公開できるように取り組む。 財務課
総務課
- 58 自己収入の増加に寄与する事務事業の検討を行う。 財務課

2 経費の節減に関する目標を達成するための措置

- 59 教育研究水準の維持・向上に配慮しつつ、計画的な教員配置を行う。また、業務内容の見直し、簡素・効率化を促進する。 総務課
- 60 教職員への経費節減の周知を行うとともに、業務改善・経費削減に取り組む。 財務課
- 61 管理的経費の節減を図るよう、省エネ・省資源に努める。 財務課

3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

- 62 予算の執行状況を見定め、安全確実に資金の運用・管理を行う。 財務課
- 63 本学教員が関係する地域活動、学会、検定、講演会等の会場として、施設を開放する。 総務課

第4 自己点検・評価、外部評価の実施及び評価結果の活用に関する目標を達成するための措置

1 自己点検・評価、外部評価の実施及び評価結果の活用に関する目標を達成するための措置

- 64 自己点検・評価や法人評価委員会及び認証評価機関による外部評価の結果等を公表するとともに、教育研究活動や業務内容の適切な改善を行う。 企画課

2 情報提供に関する目標を達成するための措置

- 65 大学の教育研究活動や法人の運営情報等をホームページ、冊子等を通じて積極的に公表する。 総務課
業務推進部

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

1 コンプライアンスの推進に関する目標を達成するための措置

- 66 教職員に対して、研修会やe-ラーニング等を通じてコンプライアンスの啓発を行う。 財務課

2 施設の効率的整備に関する目標を達成するための措置

- 67 施設整備計画に基づき、施設、学内システム、備品等の更新等を検討し、適切に実施する。 総務課

3 安全管理に関する目標を達成するための措置

- 68 警察の協力のもと、オリエンテーションや必修授業において防犯や薬物に関する注意喚起を行う。 教務学生課
また、適宜学生生活に関しての注意喚起を行う。

- 69 教職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施し、適切に教職員の安全衛生管理を行う。 総務課

- 70 消防訓練を実施するとともに、AED講習の実施に取り組む。 総務課

4 情報管理に関する目標を達成するための措置

- 71 個人情報の管理を適切に行い、情報セキュリティ体制の充実を図る。 総務課

5 人権に関する目標を達成するための措置

- 72 人権問題や各種ハラスメントについて学び、考える機会を設け、教職員や学生の意識を高め、ハラスメントの防止に取り組む。 総務課

- 73 男女共同参画に関する研修等を実施し、意識の啓発に取り組む。教職員の仕事と子育ての両立について、支援を継続する。 総務課

6 環境保全の推進に関する目標を達成するための措置

- 74 グリーン購入や再生紙の利用等の省エネルギーやリサイクルの推進に努めるとともに、廃棄物の分別を徹底し、その減量化に努める。 財務課

○ 新潟県立大学第2期(H27-32) 平成31年度計画【指標】

平成31年度計画

別表1(教育指標)

項目		考え方	達成年度	目標値
1	卒業時の英語能力(世界的に認められた標準的な能力評価テストを活用)	国際地域学部TOEICスコア	毎年度	730点
		人間生活学部TOEICスコア	毎年度	500点
2	国家資格の取得率(管理栄養士、社会福祉士等)	管理栄養士の合格率	毎年度	100%
		社会福祉士の合格率	毎年度	全国10位以内
3	志願倍率	志願者数/募集定員	最終年度	8.6倍
4	授業内容満足度	5段階評価の上位2位/回答数	毎年度	85%
5	離学した学生の割合	退学者数/入学者数	毎年度	1%
6	教員の学生サポート満足度(学習、進学)	5段階評価の上位2位/回答数	毎年度	80%
7	国の大学教育改革に関する支援プログラム採択数	各学部採択数	最終年度	1件
8	就職希望者の就職率	就職者数/就職希望者数	毎年度	100%
9	卒業生の就職・進学満足度	5段階評価の上位2位/回答数	毎年度	90%
10	留学生の受入・派遣数 (参考指標:学生に占める外国人留学生の割合)	受入者数/年	毎年度	26人
		派遣者数/年	毎年度	105人
11	大学院の定員充足率	入学者数/入学定員	毎年度	100%

*3 H27:9.3倍、H28:9.1倍、H29:8.9倍、H30:8.8倍、H31:8.6倍、H32:8.5倍

(人口減少率を考慮し、年度ごとに逓減)

別表2(研究指標)

項目		考え方	達成年度	目標値
12	受託・共同研究件数	契約件数/年	毎年度	16件
13	科学研究費補助金等の出願件数	出願件数/年	毎年度	28件
14	論文数(査読の有無で区分及び英語論文数)	論文数/年	毎年度	140編
		査読付き論文数/年	毎年度	79編
		英語論文数/年	毎年度	50編
15	学会報告件数	報告件数/年	毎年度	140件
16	著書・美術作品・音楽活動等の発表数	発表数/年	毎年度	57件
17	論文の引用件数等	Google Scholar検索ヒット数/年	毎年度	535件

○ 新潟県立大学第2期(H27-32) 平成31年度計画【指標】

平成31年度計画

別表3(地域貢献・国際化指標)

項目	考え方	達成年度	目標値
18 卒業生を採用した企業の満足度	5段階評価の上位2位/回答数	毎年度	80%
19 新卒者の県内就職数	就職者数/年	最終年度	150人
20 公開講座などの聴講者数・教員参画数	聴講者数/年	毎年度	1,040人
	教員参画数/年	毎年度	19人
21 受託・共同研究件数(再掲)	契約件数/年	毎年度	16件
22 国・地方自治体の審議会等の委員委嘱数	委嘱数/年	毎年度	80件
23 大学・教員がマスメディアに取り上げられた件数	新聞等の掲載数/年	毎年度	80件
24 卒業時の英語能力(世界的に認められた標準的な能力評価テストを活用)(再掲)	国際地域学部TOEICスコア	毎年度	730点
	人間生活学部TOEICスコア	毎年度	500点
25 留学生の受入・派遣数(再掲)	受入者数/年	毎年度	26人
	派遣者数/年	毎年度	105人
(参考指標:学生に占める外国人留学生の割合)			

* 19 H27~H29:135人、H30~H32:150人(定員増のH27入学生がH30に卒業することを反映)

別表4(業務運営指標)

項目	考え方	達成年度	目標値
26 事務局の学生サポート満足度(学生生活、就職)	5段階評価の上位2位/回答数	毎年度	75%

別表5(財務内容指標)

項目	考え方	達成年度	目標値
27 志願倍率(再掲)	志願者数/募集定員	最終年度	8.6倍
28 科学研究費補助金等の獲得件数	獲得件数/年	毎年度	18件
29 外部研究資金比率(経常収益対応)	外部研究資金/経常収益	毎年度	3%
30 自己収入比率(〃)	自己収入/経常収益	毎年度	55%
31 教育研究費比率(〃)	教育研究費/経常収益	毎年度	20%

* 27 3の再掲

○ 新潟県立大学第2期(H27-32) 平成31年度計画【予算】

第6 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画

1 予算

平成31年度

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	883
運営費交付金(施設整備を除く)	645
運営費交付金(施設整備)	73
施設整備補助金	165
自己収入	808
授業料及び入学検定料収入	796
雑収入	12
受託研究等収入及び寄附金収入等	0
目的積立金取崩収入	140
計	1,831
支出	
業務費	1,487
教育研究経費	269
人件費	1,151
一般管理費	67
受託研究等経費及び寄附金事業費等	0
施設整備費	73
新学部施設整備費	271
計	1,831

○ 新潟県立大学第2期(H27-32) 平成31年度計画【予算】

2 収支計画

平成31年度

(単位:百万円)

区 分	金 額
費用の部	
經常経費	1,869
業務費	1,420
教育研究経費	269
受託研究費等	0
人件費	1,151
一般管理費	67
施設整備費	73
施設整備費(新学部)	271
財務費用	0
雑損	0
減価償却費	38
臨時損失	0
収入の部	
經常収益	1,729
運営費交付金収益	883
授業料収益	590
入学金収益	157
検定料収益	49
受託研究等収益	0
寄附金収益	0
財務収益	0
雑益	12
資産見返運営費交付金等戻入	36
資産見返寄附金戻入	1
資産見返物品受増額戻入	1
臨時利益	0
純利益	△ 140
目的積立金取崩	140
総利益	0

○ 新潟県立大学第2期(H27-32) 平成31年度計画【予算】

3 資金計画

平成31年度

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金支出	1,831
業務活動による支出	1,310
投資活動による支出	479
財務活動による支出	42
次期中期目標期間への繰越金	0
資金収入	1,831
業務活動による収入	1,691
運営費交付金による収入	883
授業料及び入学金検定料による収入	796
受託研究等収入	0
その他の収入	12
投資活動による収入	0
財務活動による収入	0
前期(中期目標期間からの)繰越金	140

第7 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

2億

2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

第8 出資等に係る不要財産の処分に関する計画

なし

第9 出資等に係る不要財産以外の重要な財産を譲渡し、または担保に供する計画

なし

第10 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上並びに組織運営及び施設設備の改善に充てる。

第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

各事業年度の予算編成過程等において決定する。

2 人事に関する計画

大学の教育研究等の質の向上に関する目標や業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため定数管理等の計画を策定し、人材の養成や人件費の適正な管理を行う。

3 積立金の使途

なし

4 その他法人の業務運営に関し必要な事項

なし